

Geminiは本当に「遅れている」のか？：2026年AIプラットフォーム覇権争いの真実

専門AI企業 (OpenAI/Anthropic) vs Google：2026年の対立構造

専門AI企業：巨額赤字と局所的成功

プロダクト・アイデンティティ



ChatGPT/Claude
実務遂行マシン：
GitHub連携、
コーディング特化



DeepSeek
破壊的なコスト差：
DeepSeek V4-Pro
\$3.48/1M tokens
(vs GPT-5.5 \$30)



財務的消耗戦



OpenAIの純損失 (2026年)：
140億ドル
(累計1,150億ドル予測)

モデル性能：知能のコモディティ化



Google：計算されたペース配分とエコシステム統合

プロダクト・アイデンティティ



Nano Banana

クリエイティブ領域の勝者：
キャラクターの一貫性、
4K出力、動画モデル連携

モデル性能：マルチモーダルの優位性



既存収益の防衛

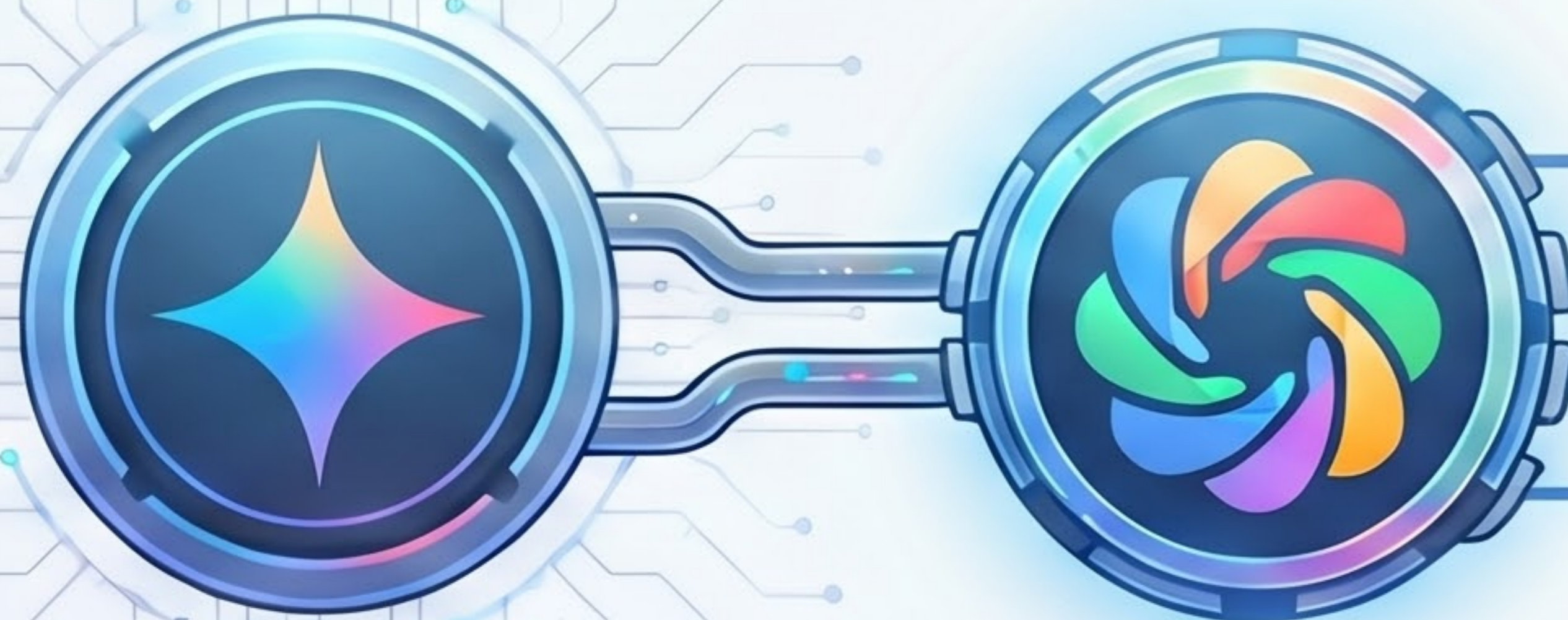


Google検索「AI Mode」の成功：
収益前年比17%増、
ユーザー検索回数倍増、
広告表示率25.5%



EU DMA規制
ブレーキ：Androidにおける
優遇措置の監視

Googleの反転攻勢：バンドル型AI (Bundled AI) と市場シェアの地殻変動



Gemini Intelligence
OSレベルの知能統合



Android 17
OSの標準機能：「Sparkエージェント」
がアプリを縛いだタスクを自律実行



Chrome
「ゼロクリック」体験：
ブラウザに標準装備

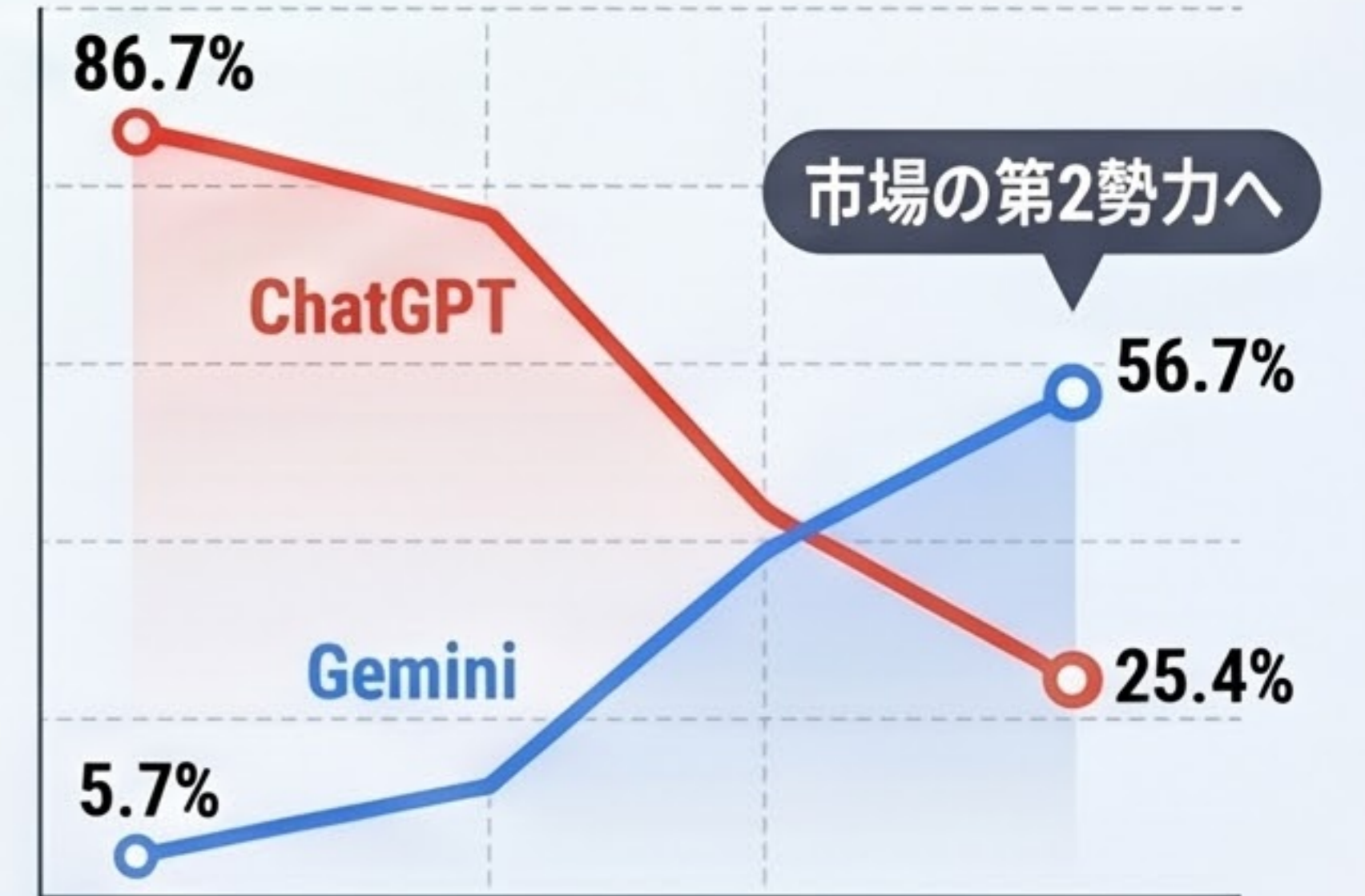


Workspace
「そこにあるAI」戦略：
アプリを立ち上げる手間を省く



Google 検索
検索収益の拡大と
カニパリゼーションの払拭

2026年春、市場シェアの地殻変動



市場の第2勢力へ
2025年初頭 2026年春
特定ポータルサイトを読める必要性の低下が、先行者のシェアを奪う